

J R東労組横浜地本青年部情報

Truth ~真実~

第23号

2022年5月18日発行

J R東労組
横浜地本
公式HP



発行責任者 森田 隼士
編集者 教宣部

沖縄本土復帰から50年

沖縄は今年5月15日で本土復帰50年を迎えました。第二次世界大戦後の1952年4月28日に発効されたサンフランシスコ講和条約によって、それまでGHQの占領下にあった日本は主権を回復しました。しかし、沖縄は引き続き米国の占領下にありました。このため「4月28日」は沖縄にとって「屈辱の日」とされていると言われています。その後、沖縄の人たちは本土復帰のためにたたかい、1972年5月15日に沖縄は主権を回復し、本土復帰を果たしました。しかし、本土復帰を果たしたとはいえ、沖縄には未だに在日米軍基地が多く存在し、その比率は日本国内にある在日米軍基地の74%が集中しています。私たちが住んでいるところから離れた位置に存在する「沖縄」の実情を私たちは実感できるでしょうか。

J R東労組青年部では、この間「5・15 沖縄平和行進」に参加し、第二次世界大戦の日本で唯一地上戦となった沖縄戦の激戦地を練り歩き、当時の沖縄の人たちに思いをはせながら練り歩いてきました。沿線で手を振る沖縄の「おばあ」が涙を見せる様子や、声援をくださる沖縄の人たちにどれだけ思いを寄せられていたのか。現地立つことによって肌で感じる「平和の大切さ」を学ぶことができます。青年部でも「ヒロシマ現地学習行動」や地本主催の「沖縄平和研修」・横須賀塾主催「横須賀研修」などの数多くの平和研修が行われています。今、世界ではロシアがウクライナに侵攻し、戦争が起きています。戦争で犠牲になるのは、いつも弱い立場にある「子どもや女性、お年寄り」、そして戦地に駆り出されるのは「労働者」です。なぜ労働組合が平和運動を行うのか。なぜ戦争をしてはいけないのか。職場から議論をつくり出し、青年部としても今後も平和の取り組みを継続していきます。



平和で安心して暮らせる社会とは何なのか？

今世界で起きていることに関心を持ち

1人の人間として職場から議論していこう！